

中村 静香 & 深沢 亮子

SHIZUKA NAKAMURA & RYOKO FUKASAWA DUO RECITAL

デュオ リサイタル



モーツァルト：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ ホ短調 K.304
W.A.Mozart : Sonate für Klavier und Violine e-Moll K.304

シューベルト：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 作品 162 (遺作) D 574
F.Schubert : Sonate für Klavier und Violine A-Dur Op.post.162 D574

ブルッフ：ヴィオラとオーケストラのためのロマンス ヘ長調 作品 85 (ピアノ伴奏版)
M.Bruch : Romanze für Viola und Orchester F-Dur Op.85 -Klavierauszug-

ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 変ホ長調 作品 12-3
L.v.Beethoven : Sonate für Klavier und Violine Es-Dur Op.12-3

2019年10月6日 [日] 午後2時開演(1時15分開場)

東京文化会館小ホール (JR「上野駅」公園口出口前)

2:00p.m. Sunday October 6, 2019 at Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

全自由席 一般 5,000円 学生 3,000円

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 150-986)

CN プレイガイド www.cnplayguide.com 0570-08-9990

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (受付時間: 電話 10:00 ~ 18:00・窓口 10:00 ~ 19:00 何れも休館日を除く)

マネジメント・お問合せ・ご予約: **Shin-En** 新演 03-6222-9513 www.shin-en.jp

SHIZUKA NAKAMURA & RYOKO FUKASAWA DUO RECITAL 中村 静香 & 深沢 亮子 デュオ リサイタル

2019年10月6日 日 午後2時開演 東京文化会館小ホール



中村 静香 (ヴァイオリン&ヴィオラ)
Shizuka Nakamura, violin & viola

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。全額スカラシップを受けアスペン音楽祭に参加。文化庁芸術家派遣在外研修員として、ジュリアード音楽院に留学。第52回日本音楽コンクール第1位。及び増沢賞、レウカディア賞、黒柳賞受賞。第29回海外派遣コンクール特別表彰。第3回日本国際音楽コンクール入賞。故・鷺見三郎、海野義雄、小林健次、川崎雅夫、ドロシー・ディレイの各氏に師事。1994年より1999年まで、旧奏楽堂に於いてベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲連続演奏会全10回を開催、併せて邦人作曲家の作品も積極的に紹介する。これまでに、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団等、各オーケストラと共演し、各地の音楽祭にも出演している。ヴィオリストとしては、2003年に大垣音楽祭でソロ・デビューを果し、最近ではヴィオリストとしても活躍の場を広げている。また、2年に1度開く自主企画のリサイタルでは、ヴァイオリン曲とヴィオラ曲を織り交ぜるなど、意欲的なプログラムを展開している。

現在、桐五重奏団、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバー。ソロ、室内楽で活躍している他、東京音楽大学准教授、フェリス女学院大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

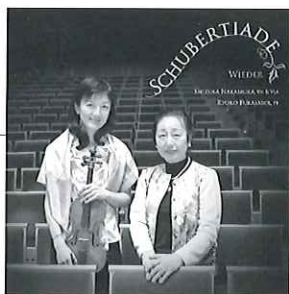
CD Now on Sale

シューベルトティアレード ふたたび
中村静香 (Vn, Vla) & 深沢亮子 (Pf)

Franz Schubert (1797-1828)

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ
イ長調 作品162 D574
華麗なるロンド 短調 作品70 D895
楽興の時 作品94 D780
アルペジオーネ・ソナタ 短調 D821

ART-3131 2,667円 (税別)
発売元・販売元: 株式会社アート・ユニオン



深沢 亮子 (ピアノ)
Ryoko Fukasawa, piano

12歳で全日本学生音楽コンクール小学校の部で全国1位、文部大臣賞を受賞。15歳で第22回日本音楽コンクール首位受賞。17歳でウィーン国立音楽大学に留学、1959年同校を首席で卒業。翌年、ウィーン楽友協会ブラームス・ザールにて海外デビューリサイタルを開催し、絶賛される。1961年ジュネーブ国際音楽コンクールで最高位入賞(1位なしの2位)。以来ヨーロッパの諸都市や南米、アジアの主要都市でリサイタルや室内楽、オーケストラとの共演等国際的な舞台で活躍(共演した指揮者はL.v. マタチッチ、G. ヴァント、H. ヴァールベルク、小澤征爾他。オーケストラはN.Ö. トーンキュンストラー管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、N響、東響、読響他。室内楽は新・旧ウィーン八重奏団、ブリュッセル弦楽四重奏団、シュトイデ弦楽四重奏団他)。日本の作品も内外に数多く紹介する。また、度々ウィーンのベートーヴェン国際ピアノコンクール、日本音楽コンクール他の審査員を務める。毎年リサイタルを開催しており、2017年の模様はNHK-BSプレミアム及びNHK-FMで度々放送されている。また、2003・04年のデビュー50周年記念からは5年毎に記念の演奏会を行っており、2018年には65周年記念として、東京(東京文化会館)とウィーン(ベーゼンドルファーザール)で開催。著書、楽譜、CDも多く、2005年デビュー50周年記念CD(ナミ・レコード)、2007・09年 恵藤久美子(ヴァイオリン)、安田謙一郎(チェロ)両氏と「深沢亮子と室内楽の仲間たち」I・II(同)、2011年 藤井洋子(クラリネット)、生沼晴嗣(ヴィオラ)、アダルベルト・スコチッチ(チェロ)諸氏と「楽に寄す〜街の歌〜」(アート・ユニオン)、中村静香氏(ヴァイオリン、ヴィオラ)と「シューベルトティアレード ふたたび」(同)、2019年5月瀬川祥子氏(ヴァイオリン)と「モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ」(同)をリリース。2015年にはハイドンとシューベルトによる「Fantasie 幻想」が「レコード芸術」誌において特選盤となる。英国ケンブリッジ国際伝記センター(IBC)により「最も優秀な100人の音楽家」に選ばれる。日本音楽舞踊会議代表理事。(公財)国際開発救援財団理事。1963年大阪府民劇場奨励賞。1995年千葉県文化功労者。永井進、G. ヒンターホーファー両教授に師事。

マネジメント・お問合せ・ご予約: **ShinEn** 新演 03-6222-9513 www.shin-en.jp